

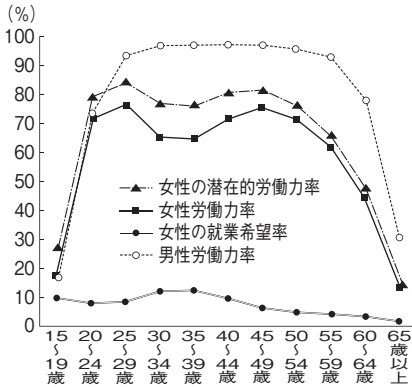
2010年(平成22年) 1月10日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1  
☎0595-63-7402 ☎64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp  
http://www.city.nabari.lg.jp  
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m\_index.htm  
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ



▶ 主な内容 P2-3...市立病院だより P4...2月の相談日程・嘱託職員募集・暮らしの情報

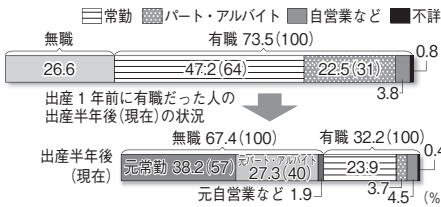
## グラフ1 女性の年齢階級別潜在的労働力率



備考 年齢階級別潜在的労働力率=(労働力人口(年齢階級別)+非労働力人口のうち就業希望者(年齢階級別))/15歳以上人口(年齢階級別)。

内閣府 「ひとりひとりが幸せな社会のために男女共同参画社会の実現を目指して(平成21年版)より(一部修正)

## グラフ2 第1子出産後の就業状況



備考 ( )内は出産1年前有職、出産半年後無職、出産半年後有職をそれぞれ100とした場合の比率

内閣府 「ひとりひとりが幸せな社会のために男女共同参画社会の実現を目指して(平成21年版)より(一部修正)

市では昨年6月に、「男女共同参画センター」を開設し、働きたい女性、育児と仕事の両立を目指す女性への相談や、女性が働きやすい環境づくりのための啓発活動を行っています。

また、母親が家事・育児と仕事を両立するためには、父親の協力を

が不可欠ですので、昨年12月から母子手帳配布時に「父親のワーク・ライフ・バランス」という冊子を配布して、育児などの協力を呼びかけています。

女性の労働力率(グラフ1)は、30歳代を底とするM字カーブを描いています。また1人目の子ども

が生まれたときに、働いていた67・4%の女性が仕事を辞めていきます(グラフ2)。

内訳をみると、出産前にパート・アルバイトだった女性の大半が辞めているだけでなく、出産前常勤だった女性でも出産を機に仕事を辞める割合が高いことがわかります。一方で、女性の就業希望率はあるものの、実現できていない状況となっています。

このことから女性が育児をしながら、仕事を続けられるような制度の充実や意識の啓発を、引き続き行っていく必要があります。

「もう一度働きたい!」起業ってわたしにもできるかな?」「何かチャレンジしてみたい!」と思っている皆さんの相談をお受けします。

関人権・男女共同参画推進室 ☎63・7559

# 女性のチャレンジ 応援します!

もが生まれたときに、働いていた67・4%の女性が仕事を辞めていきます(グラフ2)。

## 名張市男女共同参画推進講演会2009 女性の落語家第1号からのメッセージ

### 「落語家人生 夢に向かって!!」

女性落語家第1号の露の都さんをお招きして、女性落語家として活躍される中で見つけた夢を追い続けることの大切さを笑い涙を織り交ぜてお届けします。

日時 1月24日(日)午後1時30分~3時30分  
場所 総合福祉センターふれあい(丸之内)  
講師 露の都さん  
定員 250人

※先着順。申込不要

◎詳しくは市役所1階人権・男女共同参画推進室(☎63-7559)へ問い合わせください。



## チャレンジ支援相談員に聞く



相談員 辻川清子さん(産業カウンセラー・キャリアコンサルタント)

チャレンジ支援相談は、お仕事にしたいと思っている女性や、ボランティア活動をやりたいと思っている女性の抱える問題を、自らの力で解決できるよう支援するものです。

「自分にはどんな仕事があるのか」、「自分にも活動できることがあるのか」などの適職についての相談や、家事・育児と仕事の両立に対する不安や悩

みなどの相談を多く受けます。同じ思いをお持ちの皆さん、気軽に相談にいらしてください。

相談に来られた人の多くが悩みや不安を語られる中で、自ら気づき気持ちを整理され、前向きになられます。入室時より、ずいぶん明るい表情になってやる気を見せていただくと、相談にのらせていただいていたなと思います。



名張駅東口から徒歩約3分のNavarie(なばりえ)2階市民情報交流センター内男女共同参画センターで毎月第1・3火曜日にチャレンジ支援相談を実施。※2月の相談は、2日(火)と16日(火)です。申込不要